



写真提供: 小金澤周平 / 公益財団法人苫小牧市体育協会

## パラアイスホッケー

参加者を募集しております

参加  
無料

# 名古屋で体験会を開催!!

- [日程] 2019年3月31日(日)18:30-20:00
- [場所] 邦和スポーツランド(名古屋市港区港栄)
- [服装] 運動に適した服装・運動靴
- [持ち物] 指の出ない手袋、飲物、着替え、タオル
- [対象] 小学5年生以上(低学年の方は要相談)  
両手でスティックを持ち、椅子に座ることが出来る方
- [申込] 右のQRコードから、またはメールで  
お名前、電話番号、生年月日、障がいの有  
無をご連絡ください([info@sledgejapan.org](mailto:info@sledgejapan.org))
- [主催] (一社) 日本パラアイスホッケー協会
- [協力] 後報

お申込みは  
こちらから↓



申込用QRコード



JAPAN PARA ICE HOCKEY ASSOCIATION  
一般社団法人 日本パラアイスホッケー協会

担当 : 濱崎(広報)  
メール : [info@sledgejapan.org](mailto:info@sledgejapan.org)  
サイト : <http://sledgejapan.org/>

パラアイスホッケーは下肢に障害を持つ選手のためのスポーツです。切断、機能障害など選手の障害の程度は様々ですが、持ち点制度などはありません。氷に乗ったら選手は皆平等です。選手は「スレッジ」と呼ばれるスケートの刃を2枚つけた専用のそりに乗り、両手にスティックを1本ずつ持ち、プレーします。スティックの先端には、ギザギザの「ピック」がついており、漕ぐ動作で前進し、反対側のブレード部分でパックを操ります。国内には、長野県、東京、北海道、青森、兵庫県にクラブチームがあります。国際大会に出場出来るのは一定の障がいを持った選手だけですが、クラブチームの練習や大会には健全者も参加しています。



写真提供: 小金澤周平 / 公益財団法人苫小牧市体育協会

## 【体験会について】

実際にスレッジに乗り、直線走行、ターン、シュート等の基本的な動作を体験します。スレッジ、スティック、肘当て、ヘルメットは協会が準備致します。また、レクリエーション保険に加入致します。日本代表選手やスタッフも参加しますので、競技に関して分からないことや不安なことなどがあればお応え致します。本格的に競技に参加したい方はもちろん、どんな競技が知ってみたい方の参加もお待ちしております。選手ではなく、スタッフとして競技を支援したい方もぜひリンクへお越しください。



←スレッジ、ヘルメット、スティック



(C)Nikolay Kondakov,POCOG

## 【日本代表】

- ・ 1998長野パラリンピック以降、2014ソチ大会を除く5大会に出場。
- ・ 2010年バンクーバー大会では銀メダルを獲得。
- ・ 全国のクラブチームより17名が選抜。
- ・ 合宿は月に2回。年に複数回海外遠征あり。
- ・ 合宿地は主に長野県岡谷市。他に北海道、熊本県など。

日本トッププレイヤーから教えてもらえる  
滅多にない機会です。  
皆様のご参加を  
お待ちしております。



パラアイスホッケー日本代表チームのロゴマーク

この事業は日本財団パラリンピックサポートセンターの助成を受けて実施しています。



JAPAN PARA ICE HOCKEY ASSOCIATION

一般社団法人 日本パラアイスホッケー協会

〒107-0052

東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階 日本財団パラリンピックサポートセンター 内

パラアイスホッケー

検索